

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第10回競技運営専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和2年(2020年)12月23日(水) 14:00～15:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-D会議室

3 出席委員（五十音順、敬称略）

安東 雅恭、浮田 豊史、岡本 直輝、坂下 和子、澤 弘宣、菅原 万智子、
中西 敦子、中村 傳一郎、東谷 正宏、前田 康一、八木 佐知男
（委員数 11名出席）（欠席 伊勢坊 美喜、加藤 加織）
（事務局：岡田事務局長、事務局職員8名）

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会記録業務基本計画（案）」について説明。
原案どおり承認。

【質疑】

（委員）

水泳だと5種目（競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォーター・スイミング）が開催されるが、5種目すべての競技において、記録本部が必要となるか？それとも一か所ですべて記録を集約することとなるのか？

（事務局）

会場が異なって開催される場合は、各会場地市町で記録本部を設置することとなる。長浜市で開催されるオープンウォーター・スイミングにかかる記録本部は、長浜市に設置することとなる。

（委員）

記録本部は、長浜市に一つと、それ以外の競技開催市町にも設置する必要があるという認識で良いか？また、5種目の集約はせず、各種目で県記録本部に送信するという認識で良いか？

（事務局）

そのとおり。

（委員）

水泳のように、それぞれの種目が別の会場地市町に分かれて、種目を開催し、各会場地市町で記録本部を設置しなければならない競技はあるか？

（事務局）

複数の会場に分かれて競技を開催する競技については、サッカー、バレーボール、バスケットボール等がある。例えば、バレーボールについては、草津市、守山市、近江八幡市で開

催予定となっており、各会場地市町での競技結果を、バレーボール競技の幹事市である草津市に送信し、草津市から、県記録本部へ集約した競技結果を送信いただくこととなる。

(委員)

全ての競技において、記録業務の委託業者の方が入ることになるのか？

(事務局)

先催県においては、全ての競技ではなく、一部の競技において業者の社員の方が記録本部に入られることがある。競技の例としては、水泳・陸上・ウエイトリフティング・アーチェリーなどがあげられる。

(委員)

競技団体と会場地市町の役割分担がなされることになるのか？

(事務局)

そのとおり。開催2年前ごろには、競技団体・会場地市町からそれぞれ責任者や副責任者を選出いただき、業務にあたっていただくことを想定している。

(委員)

記録業務に関して、競技団体はどのようなことをしなければならないのか？

(事務局)

競技団体は、競技結果（リザルト）にかかる情報を、会場地市町は競技運営（競技の中断・再開・中止等）にかかる情報を扱うこととなる。

(委員)

記録本部の場所をおさえ、設置するのは競技団体か？それとも会場地市町か？記録本部の設置場所はいつごろ決めることになるのか？

(事務局)

開催2年前から、競技団体と会場地市町で記録本部の設置場所についての検討を始め、1年前には設置場所を選定いただくことを想定している。記録本部の設置場所については、例えば体育館で開催される競技では、体育館内の1室に記録本部を設置しておられることが多い。

(委員)

競技団体と会場地市町で扱う情報が違うと認識しているが、それぞれ別の部屋を用意しておく必要があるか？それとも、同じ場所でも良いか？

(事務局)

同じ場所で良い。県送信員についても、同じ部屋で良い。

(委員)

競技によっては、競技団体が独自にもっているシステムで素早く公式記録を作成することができる。県に送るよりも、迅速にできると考えるが、県に送信し確定するまで公表を待たなければならないのか？また、これから先、情報にかかる技術も進歩していくと想定される。先催県のシステムにならうだけでは古いのではないかと思うがいかがか？

(事務局)

現時点では、日本スポーツ協会と記録業務にかかる契約を結んだ業者が、責任をもって業務を遂行することとなっている。委員からご指摘いただいた事項について、今後日本スポーツ協会とも協議し、検討してまいりたい。

(委員)

昨今では、様々なソーシャルメディアのツールがあり、公式記録よりも早く結果情報が発信されることがあると思われるが、良いか？

(事務局)

致し方ないことと認識している。

(委員)

2 記録本部（1）に記載のある「競技記録集約会場を決定する。」とあるが、誰が主体と

なって決定するのか？

(事務局)

複数市町で開催する競技については、『幹事市』を決定しており、競技記録集約会場については幹事市に設置することを想定している。

審議事項（２）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項（改正案）」について説明。

原案どおり承認。

【質疑】

(委員)

現段階で、どれくらいの競技が前倒しの開催を予定しておられるのか？

(事務局)

3～4 競技程は事前に検討されていると聞いている。現在、会場地市町と県競技団体には、競技別リハーサル大会の開催意向調査中であり、正確な数についてはわからない。

(委員)

3開催期間および回数に関して、「県委員会と別途協議するものとする。」とあるが、協議して決定するという意味か？

(事務局)

そのとおり。協議して令和5年の開催方針について決定するという意味を含んでいる。競技別リハーサル大会の最終決定については、当委員会で審議いただくこととなる。

審議事項（３）

※事務局から「1年順延に伴う競技運営にかかる各種方針・計画（改正案）」について説明。

原案どおり承認。

【質疑】なし。

説明事項 *事務局から説明

(１) 競技運営準備マニュアル（第1版）について

(２) 競技運営専門委員会における今後のスケジュールについて

(１) 競技運営準備マニュアル（第1版）について

【質疑】

(委員)

現段階の各業務の進捗状況はどうか？

(事務局)

『競技役員等養成業務』については、平成28年度から各競技団体において、審判資格の維

持・向上に向けて、計画的に養成を行っていただいているところであるが、今年度はコロナ禍の影響で各種大会や研修会が実施されていない現状である。本県の国スポ開催時まで間に合うよう支援・協力をしてまいりたい。

『競技役員等編成業務』については、昨年度第一次調査を実施したところである。

『競技用具整備業務』については、昨年度第一次調査を実施し、その結果を基に今年度第二次調査を実施した。

『競技別リハーサル大会業務』については、現在、競技別リハーサル大会にかかる開催意向調査を実施中である。

『練習会場選定業務』については、昨年度第一次調査を実施した。練習会場の候補施設にあがっている県有施設・県立学校については、県事務局が各施設を訪問し、事前の説明を行ったところ。

(委員)

各業務はスムーズに進んでいるか？

(事務局)

各業務において、滞りなく進行している。

(2) 競技運営専門委員会における今後のスケジュールについて

【質疑】

(委員)

本委員会として、この大会から国体（スポ）を視察に行くという予定はあるか？

(事務局)

委員会としては、視察の計画はしていない。今年度は、三重県においてリハーサル大会が開催される予定であったが、コロナ禍の影響で中止となった競技が多かった。来年度開催される栃木県のリハーサル大会や、三重県の本国体には、県はもとより、会場地市町にも積極的に視察に行ってもらえるようアナウンスしていきたい。

その他 *事務局から説明

・三重とこわか国体にかかる新型コロナウイルス感染防止対策等について

【質疑】

(委員)

今後、様々な技術が進歩することに伴い、記録業務等でより新しい通信環境や機器を利用する機会が増えることが想定されることから、先催県の状況はもとより、より柔軟に変更・対応していくことが必要となる。また、記録と広報を一体化することも検討が必要になる。

以上。